



TITLE:

編集後記 (泌尿器科紀要 第4巻第  
3号)

AUTHOR(S):

---

CITATION:

編集後記 (泌尿器科紀要 第4巻第3号). 泌尿器科紀要 1958, 4(3): 184-184

ISSUE DATE:

1958-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/111574>

RIGHT:

## 編集後記

元京大総長の某先生が、Yes と No、殊に No をはつきり言える人を作りたい、No を言うことは慣れない内は言いにくい、慣れてくると言い易くなると言われたことがある。同感である。人に逆らわないとか円満であるとかいうのも悪くはないが、頼りなかつたり或はずるい場合もある。No と言うだけでなく、自己の利得にならぬ時でも No と言い得ることが大切であろう。



厚生省の専門医制度調査委員の新しい顔ぶれが決定した。以前の顔ぶれや方針などはよく知らないが今度はおそらく白紙の立場から出発するのであろう。学者として、また臨床家として立派な人達が揃われたのであるから、日本の医療制度と言う大きな観点から、大学、大学院、病院、開業医、社会保険などに関連して専門医制度が広く深く検討せられるであろう。顔ぶれが立派であると各方面に対するいろいろの事情や気がねから却つて直言が出来ないおそれもある。この際にも Yes と No が重要であろう。



大学病院が一般保険医療機関に組み入れられる事態に立ち至つたことに就いては、大学当局者が従来は健保問題に対してあまり関心を持たなかつたという点に於いて責任があるとも考えられる。せめて今後は健保に限らず医療制度の問題に関心を深め、Yes と No をはつきり発言してほしい。



南極観測に関してこれを積極的に推進しようと言う人と、むしろ消極的に、止めた方がよいのではないかと言う人とある。この問題は我々門外漢には判らぬが、このような場合には概して積極論が言い易く、消極論は言いにくいように思われる。人のあまり言わないこと或は言いにくいことでも自分の考えに従つて主張する人は確に見上げたものである。ここにも Yes と No の問題がある。

## 購読要項

1. 発行は毎月(年12回)とする。年間購読者を以て会員とする。
2. 会員は年間料金 1,000円を前納する。1冊料金100円、払込みは振替口座番号京都 4772番泌尿器科紀要編集部、或は第一銀行百万遍支店。
3. 入会申込みは氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先、職地位、自宅開業の別、送金方法を御記入の上編集部宛。

## 投稿内規

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他。寄稿者は年間購読者に限る。
2. 原稿の長さは制限しないが簡潔にする。
3. 原稿は横書き、当用漢字、平仮名、新仮名使いを用い、片仮名には括弧を要しない。400字詰原稿用紙を用いること。附表、附図はなるべく欧文にすること。
4. 文献の書式は次の如くする。著者名：誌名、巻数：頁数、年次。  
例。中野：泌尿紀要、1:110, 昭30. Lazarus, J. A.: J. Urol., 45:527, 1941.
5. 300語以内の欧文抄録を記し、之には欧文の標題、所属機関名、ローマ字著者名を附け、なるべくタイプライターを用いること。希望の場合は当編集部にて翻訳します。抄録用の原稿を送ること。翻訳の実費は申受く。
6. 掲載料は4頁迄毎頁500円、それ以上の頁、アート頁、図表、写真は実費を申受ける。別冊20部を無料贈呈。それ以上は実費を徴収する。この場合には予め希望部数を申込むこと。特別掲載も考慮する。
7. 校正は編集者が行うが希望により著者校正とする。
8. 原稿送り先は京都市左京区聖護院 京都大学病院 泌尿器科紀要編集部